

4-3 アプリケーションソフトウェア

「アプリケーション」 = 「応用」



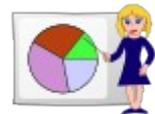
それぞれの**利用目的のため**に開発されたプログラムである(個別性)

種類(例)

1) 汎用アプリケーションソフトウェア

- ・ワープロソフト
- ・表計算ソフト
- ・データベースソフト
- ・プレゼンテーションソフト

それぞれのアプリケーションについて、教科書で確認してみましょう



← 勉強しておいてください

2) グラフィック、マルチメディアソフトウェア

- ・デジタル情報(画像、音声、動画)の加工・編集
- ・デジタル情報の再生



→ 「ペイント」系と「ドロー」系の違い

→ 関連) 前期の授業で「ビットマップ」と「アウトライン」フォントの話をしました

3) 業務用(ビジネス)アプリケーションソフトウェア

- ・会計
- ・給与計算
- ・販売管理



→ ERP (Enterprise Resource Planning) パッケージ

→ CAD ソフト

CAD : Computer-Aided Design

コンピュータを利用して、建築や電子回路設計を行なうこと

→ DTP ソフト

DTP : DeskTop Publishing

様々な分類がある。細かく覚える必要はないが、ソフトウェアの目的についてや「何をするソフトウェアなのか？」位は知っておきたい。

演習) 身の回りのパソコンで利用可能な(インストールされている)アプリケーションを分類してみましょう

関連) 近年では SaaS, ASP などのサービスが利用される場合が増えてきている

→ クラウドサービス, アプリの実体がどこにあるのか?